

第12章 経過観察

1 経過観察の方向性

史跡キウス周堤墓群の保存活用は、長期的な展望の下に進めていく必要がある。そのため、今後の各事業の進捗や世界遺産登録の実現、社会情勢などを踏まえ、必要に応じて本計画の見直しを行う。

2 経過観察の方法

各取組の推進を図る中、実施すべき事項については下表において点検を行い、必要な段階で進捗状況の評価を行う。評価を行った後、進捗や成果の評価が低いものについては問題点の分析と改善を行い、必要に応じて計画の見直しに反映させる。見直しに当たっては、有識者等で構成する委員会等に意見を求める。

表15 実施事項点検表（文化庁監修2005『史跡等整備の手引き Ⅱ 計画編』より。一部改変）

史跡等の保存面に関する整備の概念	理念の実現に向けて何を実行していますか？	Yes/No
(1) 史跡等の本質的価値の保存	・ 指定地の保存管理は、地権者の理解を得たうえで計画的に実行されているか	
	・ 整備工事において保存対策行為を行うとき、十分な監理・指導を行ったか	
	・ 維持管理に必要となる、適切な体制が整えられているか	
	・ 維持管理に必要な予算は十分確保できているか	
(2) 保存に関する調査研究の充実と整備の精度の向上	・ 発掘調査・資料調査等により、史跡の性格・構造を把握できたか	
	・ 遺跡や遺構の成立した当時の技術について十分に調査・検証を行ったか	
	・ 遺跡や遺構の劣化状況や保存環境に係る調査・分析は十分か	
	・ 設計時における保存対策の工法選定に際して、十分な検討を行ったか	
	・ 専門技術者の参加・連携は図られたか	
	・ 遺跡の表現は、学術的根拠に基づいているか	
	・ 表現すべき本質は何かについて十分検討できたか	
	・ 整備事業に関連した各種調査と、修復の記録は整理・公開されているか	
(3) 整備の手法・技術の充実・向上	・ 修復において、十分な専門技術を用いることができたか	
	・ 復元展示において、当時の構造・意匠・工法・材料の復元検討は十分か	
	・ 復元展示工事において、伝統工法を十分尊重できたか	
	・ 整備の表現手法は、正しく、わかりやすいものとなっているか	
	・ 整備の表現手法は、より説得力のある内容となっているか	
	・ 修復・復元における特殊な工法について専門技術者との連携は図られたか	
(4) 景観の保全と再生	・ 整備後に、修復の状況を管理しているか	
	・ 史跡とその周辺について、現在に至る空間構成の変遷を調査したか	
	・ 現状の景観・環境に係る調査を行ったか	
	・ 整備において目指すべき環境の姿について、検討は十分行ったか	
	・ 整備に伴う諸施設の意匠は、景観に調和した質の高いものとなっているか	
	・ 史跡周辺の環境保全のために、地域住民や企業・関係諸機関との合意・連携は図られたか	
	・ 史跡内の整備した環境の育成・維持管理は十分か	
(5) 公開・活用・管理に関する調査研究の充実	・ 条例・指針等、環境保全の措置を定め、実行されているか	
	・ 計画検討から工事実施段階において、地域住民の意見聴取・合意・参加に努め、史跡の整備の周知を図ったか	
	・ 公開する対象範囲が、史跡の本質的価値を伝えるものとなっているか（本物・見応え・鑑賞・学術性）	
	・ 整備後の活用に係る周知・工法は、広く行われているか	
	・ 活用内容は、史跡の理解に役立つものとなっているか	

表15 (続き)

史跡等の保存面に関する整備の概念	理念の実現に向けて何を実行していますか？	Yes/No
(6) 史跡の本質的価値を学び理解する場の提供	・活用プログラム等を作成し、計画的に実行しているか	
	・来訪者の目的や、感想・意見を聴取しているか	
	・来訪者の数や年齢層等の実態を調査しているか	
	・管理・運営の体制・予算は十分確保されているか	
(7) 市民の文化的活動や憩いの場の提供	・管理・運営に関する基準や指針等は定めているか	
	・解説施設等の設置対象と内容の検討は十分なされたか（誰に何を伝えるか）	
	・遺構表示・復元展示では伝えることができない情報が、解説施設等で補完されているか	
	・来訪者の興味を持たせる、体験・参加できる工夫が行われているか	
(8) まちづくりと地域のアイデンティティの創出	・学校教育との連携は図られているか	
	・来訪者に対するガイド・案内等のサービスは十分か	
	・長時間滞在する際に必要な、便益機能は整っているか	
	・整備された空間が、来訪者に心地よい場所として維持されているか	
	・刊行物やシンポジウム等、地域住民の理解と認識を高めるための取組は行われているか	
(9) 文化的観光資源としての活用	・周辺の自治会・商店等で、史跡の活用・管理・育成やこれを核としたまちづくりの議論がなされているか	
	・地域住民にとって、誇れるものとなっているか	
	・周辺施設・商店・公共施設・主要観光施設・観光団体・交通関連企業等との、広報・誘導・利用・補完等の連携は十分行われているか	